


富山発、世界へ!



エムダイヤは独自の技術のノウハウを継承して総合機械企業を創設します。

「あつたいざい」カタログセンター
株式会社 エムダイヤ
総合案内カタログ

環境機械製造のエムダイヤ

分離・破碎機を改良

総合カタログ更新

基板剥離機特許も取得

【滑川】環境機械メーカーのエムダイヤ（本社＝富山県滑川市、森弘吉社長）は、このほど、総合案内カタログ（写真）を更新した。主力のエコセパレ分離・破碎機シリーズの全機種マイナーチェンジや、基板剥離機の特許取得などを盛り込んだ。

エコセパレ分離・破碎機は独自の刃物構造による剥離技術で開発したリサイクル機械。タイヤをはじめとする異素材混合のリサイクル資源について、金属やゴム、樹脂などを高精度で破碎・分離し、

後工程で選別する。

今回更新したカタログにはシリーズ機種名に全てSをつけたマイナーチェンジモデルを掲載した。高効率（省エネ）モーターの採用や特許取得済みのディスク詰まり軽減機構、 그리스給油の操作性向上、回転部構造改良（発熱温度低減）、安全性向上など、これまでに段階的に行ってきた改良点を全て機械に組み込んだ製品シリーズを掲載した。

廃電子基板からチップなどの実装部品を瞬

時に削り取る基板剥離機も特許取得済みに変更した。実装部品と基板を分離することで、実装部品に使われる貴金属やレアメタル、基板に使われる銅などを回収しやすくなる。